

トピックス



大阪市北区天満橋1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

「映画の主人公のように」 林業就業支援受講生に国有林を案内



【山口森林管理事務所】 林業への新規就業希望者に林業の基礎知識や作業技術を（実技を通じて）学んでもらう「林業就業支援講習（実施主体：一般財団法人やまぐち森林担い手財団）^{なめらやま}」の講座が、5月7日に滑山国有林で実施されました。

当日は、20代～60代の受講生15名が参加しました。最初に谷所長から林業を取り巻く現状や国有林の仕事について説明を行った後、登山途中にある滑山林木遺産資源保存林を見学しながら、滑山国有林の最高峰飯ヶ岳を目指しました。

滑山国有林に自生する樹齢200年以上のアカマツ通称”滑マツ”（なめらまつ）が生えている場所では、滑マツはマツクイムシの被害や老衰等により減少していること、現存する滑マツを保存し、後継樹を育成して再生することが重要であることまた、林業を志す講習生に、スギ・ヒノキ・アカマツの稚樹の見分け方やマツ枯れの仕組みと対策の説明を行いました。そして、滑マツの大きさや枝下高を実感するため10mの測^{そっかん}棒を用いて樹高を測定してもらいましたが、樹高が高く、長さを確定するのが難しかったようです。滑マツの後継樹を育成するため継続してササの刈払いを行っている箇所では、事業の概要を説明し刈払い作業中の様子を見学しました。滑マツの稚樹を誤って刈らないように注意して刈払い機で作

業をしていることに関心があるようでした。

2時間弱で飯ヶ岳（937m）に登頂した受講生は、頂上で昼食をすませると、当所職員から本州最西端のブナの説明や樹種を見分けるポイントとして花や葉、種子だけでなく樹皮を見ることも大切であることなど説明を受けながら下山しました。

滑山林木遺産資源保存林の見学の後は車で移動して、推定樹齢300年の「三本杉」（林野庁森の巨人たち100選）、江戸時代に毛利藩によりモミの山引き苗を植栽した樹齢約200年の「毛利藩のモミ」（滑山モミ植物群落保護林）と滑山国有林の林業の歴史を彷彿とさせる巨木を見学しました。

モミは、スギ・ヒノキに比べ材が柔らかいため建築用材の利用は少ないものの、臭いが少ないことから食品の箱やかまぼこ板等に向いていることを説明したところ、受講生からは「子どものおもちゃにも向いているかもしれない」という感想も聞かれました。

貴重な自然が存在する滑山国有林の見学は受講生の皆さんにとって多くの刺激になったことと思います。

都会の若者が山村で林業に従事する姿を描いた映画「WOOD JOB！～神去なあなあ日常～」が公開されましたが、受講生の皆さんには映画の主人公のように今後の活躍を期待しています。

ニュース

第66回全国植樹祭 プレイイベント開催

【石川森林管理署】 石川県では、平成27年春、「木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森」を大会テーマに第66回全国植樹祭が小松市木場潟公園において開催されます。全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に天皇皇后陛下ご臨席のもと開催される、国土緑化運動の中心的な行事です。



このため、本年度は、全国植樹祭の開催気運の醸成を図るため様々なイベントが計画されており、5月18日（日）に第66回全国植樹祭石川県実行委員会主催によるプレイイベントが木場潟公園で開催されました。本イベントでは、実行委員長（石川県知事）あいさつや記念植樹等が行われたほか、ステージアトラクションや体験・展示ブース、飲食・販売ブースの展覧といった様々な催しものも開かれ、多くの県民の方々が参加されました。

石川森林管理署は、体験・展示ブースに出展し、県民の暮らしを守る国有林の取り組みをPRするパネル展示や木製キーホルダーづくりを行いました。当署の木製キーホルダーづくりは、小学生や親子連れの方々に人気が高く、650個用意していた木製キーホルダーが午後2時ごろには品切れとなる程の大盛況となりました。



全国植樹祭の会場となる当公園は、県内で唯一、自然の姿のまま残された潟である木場潟を有する公園で、白山を背景とした美しい湿原風景をご覧になれます。

また、来年3月末までには、北陸新幹線が金沢駅まで開業する予定です。白山のすばらしい雄姿が皆様をお待ちしていますので是非お越しください。



おひな祭り 大成山国有林で森林保全活動 「ニッポンハム 森の薫・みんなの森林」

【兵庫森林管理署】 5月18日（日）、たつの市に所在する大成山国有林の法人の森林において、日本ハム株式会社による森林保全活動が行われ、社員やその家族約60名が参加しました。この活動は社会貢献活動の一環として平成13年度から今日まで継続して行われてきましたが、天候などの影響から1年半ぶりの現地での活動となりました。



当日は天候にも恵まれ、汗ばむほどの陽気の中、鳥の巣箱作り、森林整備及び遊歩道の整備が行われました。鳥の巣箱作りでは、

社員の子供たちを中心に、不慣れな作業に苦戦しながらも、楽しく作業を行い、「鳥さんたちのお家どうぞ」と丁寧に樹木に据えつけました。

そのほか、以前に植栽した樹木周辺の整備として、照度をよくするための除伐、動物からの食害を防ぐための防護網の修繕、土留めを兼ねた遊歩道整備などを行ないました。

作業の中で、どうすれば土留め効果を期待できるかなどといった工夫や整備の注意点などを森林管理署職員に積極的に質問するなど、熱心に作業が行われました。



最後に「森の薫・みんなの森」に一人ずつメッセージを届けるため、全員で感想や思いを葉っぱ形の紙に書き残して記念撮影。次回からも森林保全活動を行うことを確認して終了となりました。

今回の活動にあたり日本ハム株式会社担当者から「ニッポンハムでは燻製商品を扱っているが、燻製に使われる木のことを社員にもっと知ってもらいたい。また、レクリエーションの一環としても社員に楽しんでもらいたい。」とありました。この活動の中で森林に興味を持つ社員も多く、また、森林整備などを体験することによって、木のことを少しでも知ることができたのではないのでしょうか。

燻製に使用された桜チップは使用後有効活用される一

方で、廃棄されるものも多いため、土壌改良材として再利用するなど、今後の有効活用方法も探りたいとの意向もあり、森林管理署としても協力していく考えです。

第1回「民有林と国有林の一体的な管理経営」のための検討委員会を開催

【和歌山森林管理署】 5月14日（水）、第1回「民有林と国有林の一体的な管理経営」のための検討会を開催しました。

研究会には、有識者、県西牟婁振興局の職員（准フォロを含む）、白浜町、すさみ町の林務担当課、地元森林組合の施業プランナー、当署の職員合わせて20人が出席しました。

冒頭、牧野署長から「林業経営モデル林について、平成25年度に森林管理局を中心として進めていた宮城川地区の計画をより具体化するために、今後関係者の皆様と連携を図り、民国連携の推進に向け有意義な検討会になることを期待します。」との挨拶がありました。

同検討会は、林業振興の具体化を図る観点から設置されたもので、面的にまとまりのある森林経営計画の作成や、施業の集約化など官民一体となった施策の総合的な推進、低コストで効率的な作業システム、販路の拡大等の重要な課題を解決するため、民有林と国有林が連携した一体的な管理経営に取り組む必要があります。

今後検討会は、年内に4回程度開催する予定にしております。

〈主な検討事項は次のとおりです。〉

- ① 民国連携を視野に入れた森林・路網計画等、基盤整備の検討
- ② 森林経営計画策定に向けた支援体制の検討
- ③ 公共建築物などの木造・内装木質化等、需要拡大の情報交換、意見交換
- ④ 木材、木質バイオマスの需要拡大の検討

森林教室を開催 ～庄原市立口南小学校～

【広島北部森林管理署】 5月2日（金）、庄原市口和町かまがみねの釜ヶ峰山国有林において、地元の口南小学校を対象にした森林教室を開催しました。



この森林教室は、地元小学校の2校が毎年交互に「ふれあいの森・釜ヶ峰山森林浴公園」を遠足で訪れる際に実施しているもので、今年は口南小学校の児童58名が参加しました。

森林教室では、森林ボランティア「びほく森のサポーターズ」による紙芝居「森林からのおくりもの」や森林クイズを行い、参加した児童は森林の役割や大切さ、身近な樹木について楽しく学びました。

続いて、森林ボランティアや当署職員の案内の下、展望台へつづく遊歩道を歩きながら自然観察を行いました。途中、児童たちは大きなアベマキを囲んで樹皮の感触を確かめたり、サンショウやクロモジの香りをかいで感想を交わしたりしていました。



約1時間の道のりを、児童たちは全員揃って元気に登りきり、眼下に広がるふるさとの新緑の風景に大変満足そうでした。



第35回クリーン三瓶

【島根森林管理署】 5月18日（日）、三瓶山（さんべさん）国有林周辺において、クリーン三瓶実行委員会主催の「第35回クリーン三瓶」が実施されました。

三瓶山は、年間約60万人が訪れる観光地であり、クリーン三瓶は、三瓶山の美しい自然環境を守り、保護意識等の啓発活動を兼ねて、毎年5月の第3日曜日に行われており、森林管理署も実行委員メンバーとして毎年参加しています。

今年も、天候にも恵まれ、18団体、約200名の参加がありました。実施にあたり、参加者代表によ



る開会宣言、実行委員会代表の大田商工会議所会頭より挨拶が行われ、清掃活動をスタートしました。

清掃活動は、エリアが広いことから、8コースに分かれており、各コースごとに班分けしてゴミ収集にあたりました。森林管理署は、アイリスライン沿いの「お手植えの松コース」を担当しました。

参加された10名の中には、毎年このコースの清掃を行っているという熱心な方もおられ、清掃の間には、以前はアイリスラインは有料道路でそこに料金所があった事や、広場付近に軽トラックいっぱいになるほどのゴミが多量に捨てられていた事、過去には各団体が別々の日程で清掃を行っていた時期があったこと等を教えてもらいました。

担当エリア全域を、参加者が目を光らせてゴミを探しましたが、大きな物は無く、量も少なく、例年の取り組みの成果が現

れてきているのではないかと考えられました。

参加された方からは、「去年は横なぐりの強い風と雨で大変だったが、今年は穏やかな天気ですとてもよかった。」等の声もありました。

作業後は、継続して清掃活動に取り組むことの大切さを実感するとともに、来年も参加することを誓い解散しました。



国民の森林づくり推進功労者感謝状を贈呈

【森林整備部 技術普及課】 5月22日（木）、近畿中国森林管理局局長室において、大阪森林インストラクター会に対し、平成25年度の「国民の森林づくり推進功労者に対する林野庁長官感謝状」の贈呈を行いました。

これは、「国民の森林」としての管理経営を推進している国有林において、森林づくりや森林環境保護、国産材利用推進といった「国民の森林づくり」活動の推進に貢献していただいている個人又は団体に対して、林野庁長官より感謝の意を表して、表彰するものです。

大阪森林インストラクター会からは犬塚会長をはじめ10名が出席し、青木局長より伝達表彰を行いました。

平成10年2月に設立された大阪森林インストラクター会



は、5月22日現在131名の森林インストラクターが所属し、多彩な活動を展開されており、国有林においては、平成21年度から毎年、森林ふれあい推進事業で委託契約を締結し、森林・林業の普及啓発活動の一翼を担っていただいています。また、平成23年度からは、近畿中国森林管理局内に開設している「木と緑の相談室」業務を無償で受託していただいております。同会所属の森林インストラクターが常駐（平日の月・水・金曜日の午前10時から午後4時の間）し、来訪者からの木や緑に関する質問・相談に幅広く対応いただいております。これら以外にも当局と連携し、間伐体験や植物観察等の森林環境教育イベントを、国有林等をフィールドとして継続的に実施するなど、一般市民を対象とした森林環境教育に積極的に取り組まれています。

当局では、今後も、同会をはじめとする森林ボランティア団

体等と連携、協力して、国民参加の森づくりや森林環境教育等に取り組んでいきたいと考えています。



お知らせ

平成26年度

「森林の調査隊!! フォトコンテスト」作品募集

箕面森林ふれあい推進センターでは、フォトコンテストの作品を募集しています！

沢山のご応募をお待ちしております！！

* 募集期間

平成26年6月2日～10月6日（当日消印有効）

* 募集テーマ

① 「身近な森で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）」部門
・鎮守（神社）の森やお寺の森など、身近な森や里山を探検して見つけた、その森に生息する昆虫や動物の姿及び植物などをテーマとした写真

応募対象：小中学生の個人

応募写真：1枚単位、A4版カラー（デジタル写真）

※200字程度のコメントを添付

② 「森林と人との関わり」部門

・森林（里山）散策や森林での整備活動などで感じた心象やボランティア活動等での自然とのふれあいなどをテーマとした写真

応募対象：小学生以上～大人の個人又はグループ

応募写真：3枚1組、A4版カラー（デジタル写真）

※400～600字程度のコメントを添付

* 応募方法

応募票に必要な事項を記入し、各写真ウラ面に応募票を貼付して郵送してください。（応募票は、ホームページからもダウンロードできます。）

※撮影した動植物の名前は自分でつけた名前でも可です。応募票にご記入ください。

※応募作品は、デジカメ・携帯電話末端等のデジタル写真で応募してください。

※募集作品は未発表作品に限ります。

* 応募先・問い合わせ先

箕面森林ふれあい推進センター

TEL：06-6881-2013（平日8：30～17：00）

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

インターンシップ2014

近畿中国森林管理局の実際の行政実務に接することにより、学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として実施しています。

* 募集期間

平成26年6月2日～6月20日（消印有効）

* 対象者

大学（短期大学含む）、大学院その他の教育研修施設の学生のうち、学生が所属する大学から推薦された学生の方。（学生個人からの応募は受け付け致しませんのでご注意ください。）

* 受入部署・受入人数

・森林技術・支援センター（1名）

・滋賀森林管理署（1名）

・京都大阪森林管理事務所（1名）

・兵庫森林管理署（1名）

・鳥取森林管理署（2名）

・広島森林管理署（1名）

* 参加学生決定

平成26年6月下旬頃に、受け入れの可否を各大学等あてに連絡します。

（事情により遅れる場合もありますので、ご了承ください。）

* お問い合わせ先

総務企画部 総務課

担当：研修主任官

TEL：06-6881-3418（平日8：30～17：00）

* 詳しくは局ホームページをご覧ください。

http://rinyamaff.go.jp/kinki/kouhou/intern2606.html

花草木



今号はポピーです。

ヒナゲシは、ヨーロッパ原産のケシ科の一年草で、別名「虞美人草（ぐびじんそう）」、「シャーレイポピー」とも呼ばれています。なお、グビジンソウ（虞美人草）の名は、中国の伝説に由来しています。

ケシやオニゲシに比べると、ずっと華奢で、薄い紙で作った花のようにも見えます。

ヒナゲシの花言葉は、次のとおりとなっています。

- 恋の予感 □ いたわり □ 思いやり □ 陽気で優しい □ 忍耐
- 妄想 □ 豊饒

ポピーとヒナゲシの違いは、

ポピーと言えば広くケシ類全体を意味します。ヒナゲシ、オニゲシ、ケシもポピーです。

ヒナゲシはそのポピー（ケシ類）の中の一種類です。

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【6月の展示スケジュール】

テーマ：自由展示

6/2～6/14 「第17回八十八展親子展バオバブグループ展」

【バオバブ絵画教室】

6/16～6/27 「間伐材使用家具・事務用品」

【株式会社ライオン事務器】

6/16～6/27 (仮称)「岸和田バンブープロジェクト始動」

【岸和田丘陵地区まちづくり協議会】

シリーズ 保護林 第12回

近畿中国森林管理局の保護林
みくにやま

三国山ブナ植物群落保護林 [天神川森林計画区]



ブナ林遠景

ブナ大木

三国山ブナ植物群落保護林 [天神川森林計画区] は、鳥取県三朝町に位置する中津国有林にあります。三国山における代表的なブナを主体とした高齢級天然林を保護することを目的とし、天然スギ、ブナ、ミズナラを保護の対象としています。この保護林の面積は120.37ha (全体140.57ha) で、氷ノ山後那岐山国定公園、水源かん養保護林にも指定されています。三国山 (1251.9m) では、鳥取市側に登山道が整備されており、休日には登山者が訪れています。

【三国山ブナ植物群落保護林に生息・生育する動植物】

- ◎植物：ブナ、ミズナラ、スギ、クマシデ、タムシバ、コハウチワカエデ、ハウチワカエデ、リョウブ、ナナカマド、マルバマンサク、オオカメノキ、オオバクロモジ、ヒメモチ、ハイヌツグ、チョウジギク、シラネウラボ、シノブカグマなど
- ◎動物：ニホンザル、ツキノワグマ、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマなど

【三国山ブナ植物群落保護林へのアクセス】

- ◎国道482号線から・・・国道482号線より山王谷第二林道に入り、三国山登山道からアプローチ。

【保護林及び国有林内での注意事項】

- ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。
- ★ツキノワグマ生息域です。熊鈴をつけるなど、準備は万全にしてください。

